



京都市立西養護学校は、昭和六十一年に新設の養護学校として開講いたしました。早いもので十六年目にあります。

開校当初は、あたり一面巨大な盛り土の山でした。その後、「ふれあいの里・授産園」や「特別養護老人ホーム・沓掛寮」をはじめ急ピッチでマンションや住宅が建設され、「町」が誕生しました。以来、地域の方々は、一方ならぬご理解・ご協力をいただき、感謝に堪えません。ありがとうございます。

さて、本校では、「二十一世紀の学校づくり」をめざし、また、京都市の総合制・地域制養護学校再編に向けて教育改革の時期を迎えています。これらのことを考えていくにあたり、ベースとなっているのが、ノーマライゼーションの考え方です。

今、ノーマライゼーションの考え方は広く市民に普及しています。ノーマライゼーションの考え方は、5月20日(日)午前6時から嵐山東第2グラウンドにおいて、西京消防団(二三分団)の団員二七〇名、京都市消防局西京消防署四五名、来賓三九名の参加の下、訓練、礼式等の査閲が実施されました。

この査閲は、消防団活動の能率および資質の向上を図るため、日頃の消防団の業務実績、消防訓練等の状況について査閲することを目的としており、各分団が日頃の消防団活動の成果を発揮する、年に一度の機会

及してまいりましたが、その理念は、障害のある人々とごまらず、人種、男女、老若などすべての人々に対し「様々な人々の多様な価値観や生活のスタイルをお互いに認め合い、障害のある人もない人も、高齢者も若者も、生活の拠点である

## 地域に 支えられて

京都市立 西養護学校

で、自分ができるところで役割をにない、必要な支援を自ら求めて、自分のライフスタイルで生きていくことを到達点として希求いたしております。

小学部では、プラザパークや桂坂公園・香りの花公園・大枝中学校の裏山など豊かな桂坂の自然環境のもとの、四季折々の自然にふれ、心身の健康を増進することや友達と仲良くのびのびと遊びきる活動をしていきます。

中学部では、沓掛山などでの山歩きで仲間と一緒に脚力を鍛えたり、西友ストアでの買い物学習、生活単元学習で作ったボードゲームを桂坂野鳥遊園へ持って行き活動し、ボードゲームを管理されているふれあい会館へ寄贈いたしました。

小学部から高等部まで、十二年間の中でそれぞれに充実感・達成感を味わうことのできる経験を積み重ねることで、高等部を卒業してから「地域に生きる社会人としての自己づくり」をすすめていきたいと考えています。今後とも、地域の方々のご理解・ご協力をお願いいたします。

毎年、査閲が終わるたびに、桂坂の消防団員として心新たに、気を引き締めて活動に取り組んでいかなければいけないと痛感しています。

平成9年1月に桂坂分団を結成して三年八月月でもあり、歴史は浅いですが、「自分たちの街は自分たちで守る」を合言葉に、地域に密着した火災予防の充実を図っていきたく思っています。地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

桂坂「体振」行事予定  
7月1日 バレーボール大会 [敷島] 9月1日 ベタンク大会 9日 女子ソフトボール大会 10月7日 桂坂学区体育祭 27日 ボーリング大会 12月2日 ファミリー バトミントン大会 1月13日 ソフトバレーボール大会 20日 カンポ路西学区 ニュースポーツ大会 2月17日 卓球大会

## 施設見学

桂坂女性会

### 療護園

眩しい程に晴れた5月末女性会から約二〇名、「療護園」の施設見学に参加いたしました。

初めに施設長の飯田様に園の成り立ちや現況を説明して頂き、その後、職員の方に案内をお願いいたしました。

この園では、日常生活に介護を必要とする重度の身も緑豊かな美しい街並み。この自分たちの住む街を、地域の住民こそぞって美しく住み心地よくしていこうという春と秋の統一クリーンデーは、他地域から移って来たばかりの人には「おどろき」の一光景。こうした地域挙げての行事のないところでは環境美化に対する意識もいくらか低かったのかな、との感想。

ましが出来て10年も経てば、街路樹や緑道の樹木、下草も生い茂り、当然、落

## ふれあい統一 クリーンデー

かえで自治会の「声かけ運動」に端を発したクリーンデーは、10年を過ぎた今好ましい「伝統」行事として桂坂に定着しています。

今年、クリーンデーの意義と参加の感想を編集委員で話し合ってみました。

このクリーンデーとは別に、自発的に、毎週、緑道を掃除したり、バス停の吸い殻やゴミの始末をしてくださる方のおられることを付け加えておきます。

平成13年度  
『桂坂』編集委員  
編集部は新たに加わる方です。「桂坂」の情報をできるだけ木目細かにお届けできるように努めます。よろしく願います。

- |          |            |            |              |              |          |            |              |          |            |              |          |            |            |            |            |
|----------|------------|------------|--------------|--------------|----------|------------|--------------|----------|------------|--------------|----------|------------|------------|------------|------------|
| 村 上 實 かん | 北 村 恵 子 とも | 植 田 絵 里 さつ | 西 岡 す え 子 しん | 山 岡 左 知 子 はな | 幡 尚 美 はな | 中 田 博 美 あか | 坂 口 有 希 子 ひろ | 船 本 甫 ひさ | 岸 本 博 紀 ひろ | 赤 島 富 美 子 つば | 辻 龍 子 くす | 佐 々 木 徹 じゆ | 羽 賀 福 美 ねの | 木 下 謙 司 みの | 中 寫 正 枝 さく |
|----------|------------|------------|--------------|--------------|----------|------------|--------------|----------|------------|--------------|----------|------------|------------|------------|------------|